

今日では雲一つない天気が、気温は低く零下三五・六度になつていた。そのた、氷の上にもつと雪は砂の上を歩くようにきしきしつてソリは暗い朝から海氷の上を走つたので大は分疲れて来たようた。『ブライノブライノ』の聲で犬が走りつて、三百ポンドの荷物を積んだソリのかげに風を避けてどつか腰をおろし足をなげた。犬は北村隊員がマホー瓶をもつて私の横に腰をおろす。私はウインド・ヤツケの中に入れふところから昼食をとり出した。この調査旅行のために作られたビール包みのサンドイツチだ。昨夜寝袋に入つて寝ると私はこのサンドイツチを、一晩体温であためた。そして今朝テントを出る時ウインド・ヤツケの奥深くしのはせて凍りつくことから防いでおいたのである。マホー瓶のある、恐らくにきり飯ではこんなに楽しい思い出である。残らないはずである。疲れきつた樺太犬が物欲しそうにしている。

もしいけれど一切れやろう。お前達と一緒に行くとうとする南の大陸は水平線の彼方にまたまた遠い。さあもう頑張らう。

西堀三郎



ガクブチ趣味の店

新装開店

特約店

全国こけし趣味の会

平和堂

T 三三三〇番

